

支援メニュー骨子案

犯罪の区分	<div><div>・ <u>支援金の対象となる犯罪</u>：要綱上の犯罪のうち、人の生命又は身体を害する行為であり、過失による行為を除いたもの（ア）</div><div>・ <u>要綱上の犯罪</u>：刑法（明治40年法律第45号）その他日本国における刑罰法令に規定する行為（刑法第37条第 1 項本文、第39条第 1 項又は第41条の規定により罰せられない行為を含むものとし、同法第35条又は第36条第 1 項の規定により罰せられない行為を除く。）（イ）</div><div>・ <u>条例上の犯罪等</u>：犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為（ウ）</div></div> <div><div>・ 重傷病：1 か月以上の加療を要する負傷又は疾病をいう。ただし、交通事故による被害の場合は、療養 3 か月以上であることを要する。</div><div>・ 性犯罪：刑法第176条、第177条、第179条、第181条及び第241条並びにこれらの罪の未遂罪</div></div>
被害者の区分	<div><div>・ <u>市民（要綱上の定義）</u>：住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づき仙台市の住民基本台帳に記録されている者及びやむを得ず仙台市の住民記録台帳に記録をされずに仙台市内に居住している者（A）</div><div>・ <u>住民票のない大学生等</u>：仙台市内の大学等に通う本市の住民記録台帳に記録されていない学生（BB）</div><div>・ <u>市民等（条例上の定義）</u>：市内に居住し、通勤し、若しくは通学する者（B）</div><div>・ <u>市民等ではない者</u>：市民等にあたらない者（例：県外に住む市民の遺族）（C）</div></div>

区分		仙台市	宮城県警察 ・ 宮城県	他政令市 (14市支援実施)	支援の内容	支援対象者	犯罪	被害者
①日常生活支援	ヘルパー	<input type="checkbox"/>	×	11	・ <u>家事に係るホームヘルプサービスの利用にかかった費用を助成</u>	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A
	配食	<input type="checkbox"/>	×	7	・ <u>配食サービスの利用にかかった費用を助成</u>	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A
	保育	<input type="checkbox"/>	×	10	・ <u>一時保育費用にかかった費用を助成</u>	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A
	教育支援	<input type="checkbox"/>	×	2 (川崎・神戸)	<u>幼稚園児から高校生までを養育する世帯に、次の 3 つの費用を上限を定めて助成</u> ・ 交通費助成（子又は親が被害者）【幼・小・中・高】 養育する子の学校、保育所、幼稚園等への送迎、通院が困難となった犯罪被害者に、交通費を助成 ・ 家庭教師費用、オンライン教育費用の助成（子又は親が被害者）【小・中・高】 犯罪被害により、養育する子又は養育者が外出困難となり、学校への通学又は送迎が困難となった者に、自宅で子の教育を受けさせる費用を助成 ・ 給食費助成（親が被害者）【小・中・高】 犯罪被害者が子を養育する場合に、その給食費を助成	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A
	就労支援	—	×	1 (神戸)	<u>犯罪被害者等支援総合相談窓口において、ハローワーク仙台、仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷ、仙台市母子家庭相談支援センター等の職業紹介が可能な機関や仙台市労働相談室等の相談機関を案内する。</u>	・ 条例上の犯罪等により被害を受けた市民又はその遺族	ウ	C
②精神面支援		<input type="checkbox"/>	○	12	・ <u>カウンセリング費用を助成</u> <u>（宮城県警察の公費負担制度又はみやぎ被害者支援センターが公費で実施するカウンセリング制度の利用を優先とし、それを受け終わった場合で引き続きカウンセリングを要するときに当該カウンセリングを受け終わった日から起算して 3 年以内に限り対象とする。）</u>	宮城県警察又は <u>みやぎ被害者支援センター</u> で犯罪被害者を対象としたカウンセリングを受けた者で次に掲げるもの ・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A

支援メニュー骨子案

資料 2 - 1

犯罪の区分	<div><div>・ <u>支援金の対象となる犯罪</u>：要綱上の犯罪のうち、人の生命又は身体を害する行為であり、過失による行為を除いたもの（ア）</div><div>・ <u>要綱上の犯罪</u>：刑法（明治40年法律第45号）その他日本国における刑罰法令に規定する行為（刑法第37条第 1 項本文、第39条第 1 項又は第41条の規定により罰せられない行為を含むものとし、同法第35条又は第36条第 1 項の規定により罰せられない行為を除く。）（イ）</div><div>・ <u>条例上の犯罪等</u>：犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為（ウ）</div></div> <div><div>・ 重傷病：1 か月以上の加療を要する負傷又は疾病をいう。ただし、交通事故による被害の場合は、療養 3 か月以上であることを要する。</div><div>・ 性犯罪：刑法第176条、第177条、第179条、第181条及び第241条並びにこれらの罪の未遂罪</div></div>
被害者の区分	<div><div>・ <u>市民（要綱上の定義）</u>：住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づき仙台市の住民基本台帳に記録されている者及びやむを得ず仙台市の住民記録台帳に記録をされずに仙台市内に居住している者（A）</div><div>・ <u>住民票のない大学生等</u>：仙台市内の大学等に通う本市の住民記録台帳に記録されていない学生（BB）</div><div>・ <u>市民等（条例上の定義）</u>：市内に居住し、通勤し、若しくは通学する者（B）</div><div>・ <u>市民等ではない者</u>：市民等にあたらない者（例：県外に住む市民の遺族）（C）</div></div>

区分		仙台市	宮城県警察 ・ 宮城県	他政令市 (14市支援実施)	支援の内容	支援対象者	犯罪	被害者
③ 住居支援	転居支援	<input type="checkbox"/>	×	10	・ <u>従前の住居に居住することが困難になった被害者に助成</u>	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民 ・ 放火（刑法108条、第111条第 1 項、第117条第 1 項）により自宅が被害を受け、居住することが困難となった者	イ	A
	住居復旧	<input type="checkbox"/>	○	2 (札幌・神戸)	・ <u>自宅（持家）で犯罪が行われたために修繕が必要な者に助成</u>	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A
	市住優遇	実施済	×	12	・ <u>市営住宅抽選時の優遇</u>	・ 条例上の犯罪等により被害を受けた市民又はその遺族	ウ	C
	緊急避難	<input type="checkbox"/>	○	9	・ <u>宮城県警察の制度利用者を対象に追加で延泊を実施</u>	・ 宮城県警察の制度を利用した市民		
④ 経済的支援	遺族	<input type="checkbox"/>	○	14	・ <u>遺族支援金</u>	・ 要綱上の犯罪のうち、人の生命又は身体を害する行為であり、過失による行為を除いたものにより死亡した市民の遺族	ア	A
	重傷病	<input type="checkbox"/>	○	14	・ <u>重傷病支援金</u>	・ 要綱上の犯罪のうち、人の生命又は身体を害する行為であり、過失による行為を除いたものにより重傷病を受けた市民	ア	A
	性犯罪	<input type="checkbox"/>	×	9	・ <u>性犯罪被害支援金</u>	・ 要綱上の犯罪により性犯罪被害を受けた市民	ア	A

支援メニュー骨子案

資料 2 - 1

犯罪の区分	<div><div>・ <u>支援金の対象となる犯罪</u>：要綱上の犯罪のうち、人の生命又は身体を害する行為であり、過失による行為を除いたもの（ア）</div><div>・ <u>要綱上の犯罪</u>：刑法（明治40年法律第45号）その他日本国における刑罰法令に規定する行為（刑法第37条第 1 項本文、第39条第 1 項又は第41条の規定により罰せられない行為を含むものとし、同法第35条又は第36条第 1 項の規定により罰せられない行為を除く。）（イ）</div><div>・ <u>条例上の犯罪等</u>：犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為（ウ）</div></div> <div><div>・ 重傷病：1 か月以上の加療を要する負傷又は疾病をいう。ただし、交通事故による被害の場合は、療養 3 か月以上であることを要する。</div><div>・ 性犯罪：刑法第176条、第177条、第179条、第181条及び第241条並びにこれらの罪の未遂罪</div></div>
被害者の区分	<div><div>・ <u>市民（要綱上の定義）</u>：住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づき仙台市の住民基本台帳に記録されている者及びやむを得ず仙台市の住民記録台帳に記録をされずに仙台市内に居住している者（A）</div><div>・ <u>住民票のない大学生等</u>：仙台市内の大学等に通う本市の住民記録台帳に記録されていない学生（BB）</div><div>・ <u>市民等（条例上の定義）</u>：市内に居住し、通勤し、若しくは通学する者（B）</div><div>・ <u>市民等ではない者</u>：市民等にあたらない者（例：県外に住む市民の遺族）（C）</div></div>

区分		仙台市	宮城県警察 ・ 宮城県	他政令市 (14市支援実施)	支援の内容	支援対象者	犯罪	被害者
④ 経済的支援	学業支援	<input type="checkbox"/>	×	0	<div><div>・ <u>学業支援金（引き続き本市に居住する場合の支援）</u></div><div>犯罪被害から立ち直り、学業に復帰しようとする学生に対し、支援金を支給</div><div>・ <u>家賃支援（引き続き本市に居住する場合の支援）</u></div><div>犯罪被害にあった学生が、アルバイトで失職した等経済的困窮により住まいを失うことがないように、家賃（3か月）を助成</div><div>・ <u>学用品代等の助成（引き続き本市に居住する場合の支援）</u></div><div>犯罪被害により、当該学生が使用していた学用品等が損傷し、再購入する必要が生じた場合には、その費用を助成</div></div>	・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた又は性犯罪被害を受けた市民である学生（大学生、大学院生、専門学校生等）	イ	A
	損害賠償援助	<input type="checkbox"/>	×	1 (名古屋)	<u>犯罪被害後の当面の生活を支えるという市町村の役割を考えると、本制度はそれを越えた部分と考えられ、財政的負担の公平性に課題がある。制度導入については、検討課題とする。</u>			
法律相談		—	×	4	<u>犯罪被害者等支援総合相談窓口において、法テラスや仙台弁護士会等の専門相談窓口を案内する。</u>	・ 条例上の犯罪等により被害を受けた市民又はその遺族	ウ	C
その他		<input type="checkbox"/>	×	0	<div><div>・ <u>自立支援医療受給者証（精神通院）取得にかかる診断書代を助成</u></div><div>・ <u>自宅での再被害防止のため、また被害者の安心に寄与するため、防犯カメラの設置費用を助成</u></div></div>	・ 要綱上の犯罪により死亡した市民の遺族 ・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた市民又は性犯罪被害を受けた市民	イ	A
		<input type="checkbox"/>	×	0 ※宮城県内他市町村で実施	<div><div>・ <u>死体検案に係る費用（死体検案書料を除く。）を助成</u></div><div>※死体検案書料は宮城県警察の公費負担制度がある。</div></div>	・ 遺族支援金の対象となる者	ア	A
	加算	<input type="checkbox"/>	×	1 (相模原)	・ <u>加算支援金 日常生活支援を必要としない者に対して、各支援金に上乗せ（<u>ア</u>のみ対象となるもの）</u>	・ 遺族支援金、重傷病支援金又は性犯罪被害支援金の対象となる者	ア	A
	大学生	<input type="checkbox"/>	×	0	・ <u>学生の帰省及び復学支援 犯罪被害の被害を受けた学生が療養の目的のために帰省する場合及び帰省先から来仙する費用（国内旅費に限る。）を助成</u>	・ 要綱上の犯罪により重傷病を受けた又は性犯罪被害を受けた仙台市内の大学等に通う本市の住民記録台帳に記録されていない学生（大学生、大学院生、専門学校生等）	イ	BB